

東海  
乃中  
膝栗毛

五編  
下

特  
遠13  
1164  
13



1164  
13

滑石言五十三驛五編卷之下



津の入りひざりの方小如と稱候事あり又これ  
あまごとのくもあまごの上方候事あり又これ  
人おちあふあまごは果古くは候事あり又これ  
ごのあまごはく小油のくはは候事のゆことり  
づらと候事あり又これ  
ごのあまごはくは候事あり又これ  
やまごはくは候事あり又これ

あんでせせりしきしきくアーリちーのい  
くしよましくおまうりー <sup>お</sup> 震ぐまよりのあひら  
ヤアとまよるアアアアあるやありやアアアア  
せえり <sup>お</sup> コウやハアやアアアアアアアアア  
る <sup>お</sup> アリやアアアアアアアアアアアアア  
あーくお出やアアアアアアアアアアア  
おは <sup>お</sup> ながく火ひらりかーくおくまアアア  
おは <sup>お</sup> ちあさん <sup>お</sup> トアアアアアアアアアア  
おは <sup>お</sup> ちあさん <sup>お</sup> トアアアアアアアアア

まんでつらんうら <sup>お</sup> ハアアア <sup>お</sup> あんでやあま  
さるまやたごがついであがらアアアア  
つちありー人のごごごとのむのーゆるモアア  
くノウおあごの <sup>お</sup> 系 <sup>お</sup> のあアアアアア  
つとドやアアア <sup>お</sup> 時 <sup>お</sup> 生 <sup>お</sup> 生 <sup>お</sup> 生 <sup>お</sup> 生 <sup>お</sup> 生 <sup>お</sup> 生  
「系 <sup>お</sup> のものときまアアア <sup>お</sup> があアアアア  
がたごごまうりのんであ <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー  
入とらやせん <sup>お</sup> の <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー <sup>お</sup> ー



も入者まひゆるく〜と度〜わらうよてい〜ゆどぬけ  
 いづく「コレハおら〜びきでぶざりませよようめをか  
 入ら〜ませし〜とあ〜おれ〜ははら〜まけでゆめ  
 か〜らぶがぶざりません〜とあ〜いあ〜ゆめら〜うが  
 でけぬ〜いが〜ふら〜ら〜らん〜や〜が〜ぶざり〜と  
 ま〜ら〜ら〜マアも〜でもあ〜げ〜た〜と〜ぞん〜ど〜や〜け  
 かし〜こ〜い〜は〜い〜あ〜い〜あ〜い〜ヤ〜い〜ん〜の  
 月の〜い〜ま〜ご〜お〜ら〜ら〜つ〜ま〜あ〜ぬ〜が〜な  
 ぶ〜け〜し〜ん〜ま〜

おあ〜へハ〜う〜く〜ん十色金の松花芥子一斤餘  
 お藤とやちやとや〜ま〜い〜ゆ〜て〜い〜あ〜ざ〜り  
 ま〜せ〜け〜一ナチ〜と〜つ〜と〜縁〜ら〜ら〜あ〜い〜や〜ん〜ド〜や〜て  
 イヤせんせんちと〜お〜ら〜ら〜ゆ〜ご〜あ〜さ〜と〜あ〜ん〜ん〜女〜は〜縁〜が  
 うぶざりませ〜と〜あ〜け〜し〜つ〜あ〜ら〜あ〜げ〜ん〜ん〜ゆ〜ら〜う〜と〜や〜  
 あ〜ぐ〜り〜ませ〜  
 後の中〜女〜ま〜あ〜し〜ら〜ド〜や〜ア〜あ〜め〜ん〜も〜は〜ん〜じ〜ら〜ぶ〜ぞ  
 おと〜ま〜し〜く〜せ〜び〜ア〜あ〜る〜め〜ん

十は月又十二をりの小ぢり  
 せんとしらゆハよそるあ人比



ござりませんよろしうやーあがりませイヤ唇が  
をいーませんウコリやくやくとふねとてあけや  
せトツとてあつぬといふもさうさうとさうさうとさ  
ら良イヤのみあつたふらふらいものやよあ  
あうござる相あうーいものど貴様さーまーに  
戸敷さぞおろし小砂利とさうさうさうさうさうさ  
つけらう又も貴様さぞのうさうさうさうさうさ  
ござりませんそさうさう又お儀さどもねといぢらあうや

なごみどよろしうやーあがりませイヤ唇が  
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
小遣留のさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
まのままさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
おさあさんさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
のさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ  
ゆさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ

ざり申さるる又たをござとてんが申さるるはたか  
らふとぞんとおまのどくでござり申さ  
その石とあがりましくろ 誂 だま ことん 誂 イヤ  
そまのわろまふろを石とあがりとりあけーけん  
か歯のおろし申さるるはたか 誂 だま ことん 誂 イヤ  
をあらりませんろろ 誂 だま ことん 誂 イヤ  
のろい申けーでござりまをまててんろ申ーとり  
のろい申けーのろいぬのどくでござりまをまててんろ申ーの

かけおつておつたたるらとあけつとまててんろ申ーの  
風味がうまよりまをまててんろ申ーの申けーでござり申  
あがるのでんござりませんろろ 誂 だま ことん 誂 イヤ  
まててんろ申ーのろいぬのどくでござりまをまててんろ申ーの  
まててんろ申ーのろいぬのどくでござりまをまててんろ申ーの  
まててんろ申ーのろいぬのどくでござりまをまててんろ申ーの  
まててんろ申ーのろいぬのどくでござりまをまててんろ申ーの  
まててんろ申ーのろいぬのどくでござりまをまててんろ申ーの





正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

正法蓮華經  
正法蓮華經  
正法蓮華經

くしんかるといふことなり  
こまけられとていふことなり  
おしんくわいといふことなり  
しんくわいといふことなり  
あるはとていふことなり  
まおあやといふことなり  
うきともはともいふことなり  
あ大人のあといふことなり  
かよともいふことなり  
このいふことなり

くしんかるといふことなり  
こまけられとていふことなり  
おしんくわいといふことなり  
しんくわいといふことなり  
あるはとていふことなり  
まおあやといふことなり  
うきともはともいふことなり  
あ大人のあといふことなり  
かよともいふことなり  
このいふことなり

さきつゆは トキをわけしきよきゆめくしんをくまをたて  
えんきくふたふすのふたきくはひけしやアキくくをたて  
ゆめちるふれいしりまきあひまゆふと見く 川急川急

町のまうあるもとあの画のう人入りる備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

ちうのやせんのかのう人よあつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

あつたの備へたんであつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

あつたの備へたんであつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

あつたの備へたんであつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

あつたの備へたんであつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

あつたの備へたんであつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六

あつたの備へたんであつたの備へたんで  
さうまを ーイヤあまの待てあさりまを 一六



とていふもどきなりまゝなり  
「いふ」いふがむいふとていふ  
つてそとくもぬりあつて渡作田いふ中  
がたのこゝとていふ市とあつたあつたや  
アがいふいふいふイヤたりのあつたこのあつた  
は神田八丁いふあつたといふはあつたあつた  
がそのあつたといふといふといふといふ  
まゝハアいふあつたあつたあつたあつた  
とていふとていふあつたあつたあつたあつた

「いふ」いふのうやまのぬちとていふあつたあつた  
でいふといふあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつた  
まつていふいふいふイヤたりのあつたあつた  
「いふ」いふ今ころあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつた  
かこまつといふあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつたあつた

ううういふけいからそまじで今まふとりよりのうそをさん  
せくして人ごころんがわふとつみてこそくあや  
りよおまやせんのかやまやまきくつくんせよまも  
人の名をうらうらとくさるさんこのはたニうらうら  
まけいハテくうらうらとるまの十た念先生ハ名  
古屋の川並連中うらうら状づつとくまてありや遠い  
ちなむぐまこれまてめうらうらとるまのふか念く  
ぐらあふるいこであうふとおめいこちうらうらやうら

うらまあうらうらよちあゆくとまきいんせ「あんで  
かうらまてコリヤありーらん「コサ海流さんごまん  
でもとどまう移んせんて人あゆみのあゆみつとがあ  
サアまどまきくとまど本ははあでもとあうらやせうこ  
リヤアどあもまの平四りんあまう甲トハハグを  
ていゆのていゆもあまもあまもあまもあまもあまも  
あうくのていゆもあまもあまもあまもあまもあまも  
あまのあまもあまもあまもあまもあまもあまもあまも  
あまもあまもあまもあまもあまもあまもあまもあまも  
いとままどとまう一たん議の社

うたをてしゆへあぢいさんぢ

かくよをそあふらふいとめいよーけうけえんど  
りそや美の都をさびしうしと久くおぢいさんと戸を閉て  
ひそまりうくらりつとと猿の巻巻とも久くころうだんと  
まるつとがもたなくしてころくにとたどろりけやどり  
あられ水の下のたどりがあささちを呪くことだ  
海ひくまるところくして「おれこのちくしやうめら  
ころくあぢいさんやアアアア」  
トろろろとひらひてうらつとま  
さどくたいあぢいさんちところく

か  
つぬいさんまむまむでがうらうらあやアアのヲヤ海  
さんあひるなつとてあひるゆとさる アアアア  
とのまうまうと久の宙へとつみままところくと  
かとながあひるとりみとてうらうらとてあひる  
がゆつとあけやアアアうぬくはくたえんむすのた  
どそあなとアアア トどあぢいさんちとあひるうらうらとてゆきま  
かぢいさんちとあひるうらうらとてゆきま  
かコリやつまう海へあひるまはあぢいさんちのま  
どやア海へあひるまはあぢいさんちのま アアアア



ござりしりまきどならあやアある人又どぞぞ増  
 へ入のぞ<sup>ハ</sup>そまきどつとく今<sup>い</sup>は<sup>ま</sup>おとせめり内  
 かりイヤあるぞくそら<sup>の</sup>向<sup>ま</sup>は<sup>た</sup>火が火なるア火  
 と月あてよりつとく<sup>サ</sup>あ<sup>と</sup>このまよ<sup>カ</sup>ア<sup>サ</sup>サ<sup>を</sup>れ<sup>が</sup>ら<sup>く</sup>  
 へ<sup>ち</sup>あ<sup>う</sup>桃<sup>つ</sup>灯<sup>えん</sup>の火<sup>と</sup>ど<sup>や</sup>ア<sup>後</sup>入<sup>り</sup>孫<sup>ハ</sup>と<sup>ん</sup>ど<sup>と</sup>と<sup>り</sup>ふ  
 戸のそま<sup>ら</sup>ら<sup>り</sup>の<sup>ま</sup>る<sup>火</sup>ど<sup>い</sup>の<sup>と</sup>わ<sup>ん</sup>よ<sup>あ</sup>の  
 うらでた<sup>く</sup>火<sup>ど</sup>あ<sup>ん</sup>で<sup>ま</sup>毛<sup>ぬ</sup>め<sup>と</sup>と<sup>い</sup>の<sup>ん</sup>ど<sup>く</sup>  
 とぬつ<sup>と</sup>や<sup>せ</sup>ら<sup>う</sup>ト<sup>あ</sup>の<sup>こ</sup>ま<sup>き</sup>せ<sup>ら</sup>り<sup>し</sup>め<sup>り</sup>あ<sup>が</sup>て<sup>そ</sup>ま<sup>よ</sup>を  
 とぬつ<sup>と</sup>や<sup>せ</sup>ら<sup>う</sup>ト<sup>あ</sup>の<sup>こ</sup>ま<sup>き</sup>せ<sup>ら</sup>り<sup>し</sup>め<sup>り</sup>あ<sup>が</sup>て<sup>そ</sup>ま<sup>よ</sup>を  
 とぬつ<sup>と</sup>や<sup>せ</sup>ら<sup>う</sup>ト<sup>あ</sup>の<sup>こ</sup>ま<sup>き</sup>せ<sup>ら</sup>り<sup>し</sup>め<sup>り</sup>あ<sup>が</sup>て<sup>そ</sup>ま<sup>よ</sup>を  
 とぬつ<sup>と</sup>や<sup>せ</sup>ら<sup>う</sup>ト<sup>あ</sup>の<sup>こ</sup>ま<sup>き</sup>せ<sup>ら</sup>り<sup>し</sup>め<sup>り</sup>あ<sup>が</sup>て<sup>そ</sup>ま<sup>よ</sup>を

ち<sup>ま</sup>え<sup>ん</sup>あ<sup>め</sup>り<sup>し</sup>中<sup>を</sup>も<sup>ハ</sup>  
 ち<sup>ま</sup>え<sup>ん</sup>あ<sup>め</sup>り<sup>し</sup>中<sup>を</sup>も<sup>ハ</sup>  
 ひ<sup>ら</sup>ち<sup>ま</sup>え<sup>ん</sup>あ<sup>め</sup>り<sup>し</sup>中<sup>を</sup>も<sup>ハ</sup>  
 あ<sup>う</sup>く<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ  
 つ<sup>と</sup>り<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ  
 ぐ<sup>ら</sup>ん<sup>で</sup>く<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ  
 ろ<sup>と</sup>あ<sup>め</sup>り<sup>し</sup>中<sup>を</sup>も<sup>ハ</sup>  
 と<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ  
 つ<sup>と</sup>り<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ  
 と<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ  
 と<sup>あ</sup>め<sup>り</sup>し<sup>中</sup>を<sup>も</sup>ハ

どのりの車<sup>り</sup>り<sup>小</sup>座<sup>の</sup>う<sup>ら</sup>ら<sup>て</sup>火<sup>を</sup>て<sup>さ</sup>ち<sup>や</sup>と<sup>り</sup>た<sup>ら</sup>な  
 とお<sup>し</sup>て<sup>ゆ</sup>く<sup>の</sup>こ<sup>の</sup>あ<sup>り</sup>の<sup>か</sup>り<sup>く</sup>こ<sup>を</sup>と<sup>ま</sup>ざ<sup>り</sup>ゆ<sup>く</sup>よ<sup>お</sup>お<sup>し</sup>た<sup>い</sup>

おとどきどももくさなも移りかまお申のうそさきしこおとくし  
さびたもはあやううさぶたがまんおつよむらてとこちのいんち  
あじびやうのいんちぐさぐさ中々あやう一人あやうのあはれ  
あうううこ忍びが小山のていそ大かきとまうさきぐさしとこちよ  
と人あやうのあはれむとめけ孫コウおとくさ  
つアさるあんとおはよさるやとく

ううアツグつらとくちとつそひでやうらそよトあ

とれがあよのや「まらるよのいんち春はうとづきそあさトおん  
男も又とく

その男もたつど命りまらとく「モシおめ人今どあど人お出る  
わち中へはひう「名どやけ

さるトあいんちぐさぐさのあはれとぞんどの「いんちくさくまらの松坂へ  
やうやういんちのいんち

いんちあるめかどあやうあさうひんちうこりあてく「モ

どよあやういんちあひあうとあ人あやういんちあやういんち

あやう「コリヤよとつとくやとあやういんちあやういんち

だやういんちいんちいんち「コリヤあやういんちいんち

いんちいんちいんちあやういんちいんちいんち

てあやういんちいんちいんち「コリヤあやういんちいんち

いんちいんちいんちいんち「コリヤあやういんちいんち

いんちいんちいんちいんち「コリヤあやういんちいんち

いんちいんちいんちいんち「コリヤあやういんちいんち

りうがうまあちんあぐりやうめせうちんもあち  
つるさしようくうれう二人とりよめほうく  
まご男イヤくこのまゝとつとあいらしがあま  
がみ強みながあみふ 男イヤんせまーやみはたせ  
まぐりてくらふようやうあたまつくらぬいんまのま  
この松原小とうあつことうみんとやかう<sup>せ</sup>あまあ  
まう自らめのがうらうくめあつこくまもがあちん  
つらうちんあちんあちんあちんあちんあちんあちんあ

117

らあまいへ 男イヤあちんあちんあちんあちんあちんあちんあ  
どすへ向くくこのまゝとつとあいらしがあま  
まぐりてくらふようやうあたまつくらぬいんまのま  
この松原小とうあつことうみんとやかう<sup>せ</sup>あまあ  
まう自らめのがうらうくめあつこくまもがあちん  
つらうちんあちんあちんあちんあちんあちんあちんあ  
らあまいへ 男イヤあちんあちんあちんあちんあちんあちんあ  
どすへ向くくこのまゝとつとあいらしがあま  
まぐりてくらふようやうあたまつくらぬいんまのま  
この松原小とうあつことうみんとやかう<sup>せ</sup>あまあ  
まう自らめのがうらうくめあつこくまもがあちん  
つらうちんあちんあちんあちんあちんあちんあちんあ

トちつとてこのおまど  
ニがうらうらあまの男  
トがうらうらあまの男  
もあちんあちんあちんあちんあちんあちんあ





さうさうくさうのぢりんさうなりけとさうとさうと松坂あさう  
まごあさうさうまごさうのうの男ごさうあもあもあさうのさうあまはあ  
さうさうのさうさうとさうさうのさうさうと町の入り口さうさうとさうと  
さうとさうさうさうさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうと  
あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ  
あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

あさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあさうあさうあさうとあ

じやありさしも古市まを掛よりよりまへ一あり  
 舞なるさきさきましりてはとこなるはいつくまゆづ  
 のあまらちを大つるまをよハあつたのつとゆくぞ  
 司んあつはあそとけけいゆいそまトけりてるのま  
とゆひるとニわうらまトトくおま「おまんぐてアに  
トんて出うけ  
 戸尻トやありさしおあそまざつるあふいとと  
 じやざしやま集つてころひりまあまざるまアに  
 戸尻似合んどん人いてまこまあ場ざらともしよ

らんむくろろあつてくろろや百日やどある日と  
てしうづ  
 こまあよつてこころなむそまろろのまとんく  
けが  
せう  
 小田しとあぬそと海の中へころろこ小用をつつと  
 小正本八本むろろ志あつてがまろろまよろつてあ  
 ころあ幕でまろろのあつてな小用権であつてま  
ま東ぶの小役と幕ととつけこまをろろこま  
 じまろろ小役も大切まのんまおろろ海の中へ暗へ





しとてその三斗八斗せとりく人さう茶が馬うまり  
み結むすや六結むすいらるごうみよをまごうし茶ての尻しりと  
らるよの虫むしそのよあるさち虫むしさうしの煙けむりうけを  
つらくとくであるさうや茶ちやのうら尻しりといりり  
けるさうやまごうのめいごうもさ中ちゆうよなるごう  
らううらまごうやさうのさう見けんをひりうけさ茶ちやと  
よめうめんでまよまごうと登のぼとゆうあるごうまごう  
そのまじななつらさうのさうなな茶ちやをさうて人ひと茶ちやと

とらわさうけゆ人ひとよ人ひととさうらうつらさう時とき分ぶんの  
三月さんげつてお見けんのさう甲かてんぐと幕まくらとさうてまごう  
みよみよ茶ちやのまよ法ほうあんととあちさうと茶ちやのつぐ  
そのまのうらまゆらあるともり人ひとのかく人ひとの番ばん  
のおよさうさうのおちさうのあまさうさうまごう  
そまごうらうかまごうの気きう茶ちやのさうらうらうらと  
いさういさうもも茶ちやをさうさうさうさうやまごうとまごう  
つてまごうらうのさうらうらうらうやまごうなまごう茶ちやと







いんごやとんといんごまどかまんのはまどやあ  
しごあんあしよどやあうのなるまうし山田のめん  
よつあういとおつこ<sup>かきら</sup>とあううのなるこしや  
あこぞあういんごまどかまんの教のち<sup>あつ</sup>松尾の  
松のち<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>内<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>ん<sup>あつ</sup>せん<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>ど<sup>あつ</sup>よ<sup>あつ</sup>め<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>  
ト<sup>あつ</sup>中<sup>あつ</sup>し<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>や<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>な<sup>あつ</sup>ト<sup>あつ</sup>ウ<sup>あつ</sup>ウ<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>史<sup>あつ</sup>ゆ<sup>あつ</sup>ひ<sup>あつ</sup>し<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>を<sup>あつ</sup>孫<sup>あつ</sup>一<sup>あつ</sup>こ<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>  
あ<sup>あつ</sup>ぞ<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>げ<sup>あつ</sup>く<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>を<sup>あつ</sup>ぶ<sup>あつ</sup>り<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>ひ<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>ん<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>一<sup>あつ</sup>て<sup>あつ</sup>  
く<sup>あつ</sup>ど<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>ぞ<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>も<sup>あつ</sup>り<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>く<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>一<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>世<sup>あつ</sup>古<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>松<sup>あつ</sup>尾<sup>あつ</sup>や  
て<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>く<sup>あつ</sup>し<sup>あつ</sup>て<sup>あつ</sup>めん<sup>あつ</sup>町<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>板<sup>あつ</sup>屋<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>ど<sup>あつ</sup>や<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>る

かろく<sup>あつ</sup>り<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>る<sup>あつ</sup> 孫<sup>あつ</sup>ト<sup>あつ</sup>リ<sup>あつ</sup>や<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>け<sup>あつ</sup>や<sup>あつ</sup>せ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>代<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>く<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>あ  
ま<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>ち<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>  
ま<sup>あつ</sup>川<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>舟<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>  
ま<sup>あつ</sup>川<sup>あつ</sup>を<sup>あつ</sup>孫<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>孫<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>ん<sup>あつ</sup>と  
ま<sup>あつ</sup>く<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>ま<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>乃<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>あ<sup>あつ</sup>  
ま<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>り<sup>あつ</sup>村<sup>あつ</sup>河<sup>あつ</sup>原<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>い<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>世<sup>あつ</sup>古<sup>あつ</sup>と<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>ら<sup>あつ</sup>く<sup>あつ</sup>入<sup>あつ</sup>て  
山<sup>あつ</sup>田<sup>あつ</sup>の<sup>あつ</sup>町<sup>あつ</sup>一<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>う<sup>あつ</sup>あ

滑稽五十三駄五篇卷之下終

